

第1回検討委員会の主なご意見への対応

第 1 回検討委員会(R7.5.31)の主なご意見への対応

※議題番号は第1回検討委員会の議題番号

議題：(2) 港区まちづくりマスタープランの改定について			
発言者	意見	対応方針	対象資料・該当ページ
桑田委員	東京都「都市づくりのグランドデザイン」の改定の検討状況を確認する必要がある。	東京都と都市づくりのグランドデザインの改定に向けた動きを意見交換したが、具体的な改定時期は未定であることを確認した。今後も、都と適宜情報共有を行い、必要に応じてマスタープランへの反映を行う。	—
藤井委員	MINTO ビジョン検討内容との整合や調整を意識してほしい。	MINATO ビジョン担当部署と情報共有及び連携を行い、整合を図ることを共有した。今後も、適宜情報共有を行い、マスタープランへの反映を行う。	—
秋田委員	区民意向把握については、小学生と高校生でも意見が異なるため、きめ細かく実施してほしい。	区内の中学校及び高校の生徒を対象に、それぞれの立場を踏まえてアンケートを実施した。	資料2-3 区民意向把握(概要) P7~10
議題：(3) 改定に当たっての検討の視点について			
副委員長 (坂井委員)	港区が持っている基本的な特徴(例:起伏に富む、交通のラストワンマイル問題、外国人の居住、インクルーシブなど)を踏まえる必要がある。特にインクルーシブについては、住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯の分野からもふれる必要がある。	基礎調査において、8つの分野から港区の基本的な特徴を整理するとともに、これらを踏まえて現行計画の評価を行った。また、重点課題の1つとして「インクルーシブなまちづくりへの対応」を設定した。	資料2-2 基礎調査(概要) 資料2-4 現行計画の評価(概要) と改定に向けた重点課題 P2~11
市古委員	防災分野は個別の法定計画に紐づかないため、マスタープランにおいて防災の方針を位置付けることが大事である。	改定マスタープランの「方針5 防災・復興」において、引き続き、防災の方針を示すとともに、基礎調査や現行計画の評価を踏まえた新たな取組方針を整理した。	資料2-4 現行計画の評価(概要) と改定に向けた重点課題 P6 資料3 改定マスタープランの方向性 P3
森本委員	交通面では、今後10年間で自動運転のレベルの向上、ライドシェアの普及などが予測され、多機能性のあるモビリティハブを設ける視点を追加してほしい。	改定マスタープランの「方針3 道路・交通」において、自動運転や次世代モビリティなどの新たな技術の活用、モビリティハブの整備などを新たな取組方針として整理した。	資料3 改定マスタープランの方向性 P3

第1回検討委員会の主なご意見への対応

藤井委員	高齢化によりまちのバリアフリー化、生活利便施設の充実、夏の猛暑対策に向けた都市環境の整備が必要である。	現行計画の評価において、該当する分野の取組の進展状況を整理するとともに、関連する分野においては新たな取組方針を整理した。	資料2－4 現行計画の評価(概要)と改定に向けた重点課題 P 3、4、5 資料3 改定マスタープランの方向性 P 3
落合委員	大規模開発が進行している中で、開発から取り残された土地の在り方も検討してほしい。	マスタープランは、個別地区の開発計画等を直接示すものではない。現行マスタープランの「方針 1 土地利用・活用」においては、既存の市街地環境の維持・保全および適切な更新が記載されており、改定マスタープランにおいても、引き続き、地域の特性に応じた土地利用を適切に誘導していく方針を示すことを想定している。	資料3 改定マスタープランの方向性 P 3
米田委員	オーバーツーリズムの課題とともに、港区が本来持っている価値を生かしていけるとよい。	基礎調査において旅行者数の実態を調査・整理した。改定マスタープランの「方針 8 国際化・観光・文化」において、港区の個性を生かした観光まちづくりを新たな取組として整理した。	資料2－2 基礎調査(概要) P 1 6 左下 資料3 改定マスタープランの方向性 P 3
秋田委員	港区の中で一番生かされていない資源が水の資源と感じる。水・緑に関連して、古川や海側の再生が進むとよい。	改定マスタープランの「方針 1 土地利用・活用」及び「方針 4 緑・水」において、水辺に開かれたまちづくりの推進や、水辺の活用によるにぎわいの創出を新たな取組として整理した。	資料3 改定マスタープランの方向性 P 3
落合委員	複数の改定の視点がある中で、今後 20 年間の重点課題や優先事項を絞って議論を進めるべきである。	改定に向けた重点課題を5つに設定するとともに、これらの重点課題を踏まえ、分野横断的に取り組む視点を整理した。	資料2－4 現行計画の評価(概要)と改定に向けた重点課題 P 1 1 資料3 改定マスタープランの方向性 P 2